

インターバンクの声（2015 年 9 月 25 日）

イエレン FRB 議長の講演を控え、ドル円は東京時間の零時過ぎに付けた 119 円台前半から徐々にポジション調整が進んでいたが、いつもより明確な議長コメントが伝わってきたことで早朝の東京は 120 円 20-30 銭付近で取引されている。ドル円だけでなく、ユーロや豪ドルもやや値を下げており、市場は若干ドル買いに傾いている。イエレン議長の講演での発言に対しては、先週の連邦公開市場委員会（FOMC）で、いつものように利上げの時期について明確な見方を示さなかったこともあって、今回も期待はさほど大きくはなかった。FOMC では利上げ時期をはっきりさせなかったと同時に発言内容がハト派寄りになったことで、年内の利上げが消えたとの見方も増えていた。ところが、今朝、伝わってきた議長発言は、米経済が雇用拡大に向け力強い状態であれば、FRB は年内に利上げを開始するという内容だ。習近平主席が訪米中で気を遣ったわけではあるまいが、FOMC で述べたような最近の世界経済や金融市場の動向が FRB の政策に大きな影響を及ぼす想定はしていないと明言した。来週、さっそく米雇用統計の発表予定もあり、目先はややドルの上値への移行を意識してもいいかも知れない。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。